

ポラさんぽ...

「地域住民が施設内カフェをお手伝い」

特別養護老人ホームHOME TOWNコスモス(帆谷町)では、地域の方との交流を目的に6年前から「カフェほやほや」を月2回(14:00~15:00)開店し、4名のボランティアがお手伝いをしています。

活動者の一人は、「職員さんから、地域住民でカフェをお手伝いしてくれる人はいないかと相談され、同じ町内の知り合いを誘って関わるようになったのが始まり」と話してくれました。

ボランティアは、毎回30分前には集まり、職員と一緒にテーブルやいすを移動させたり、テーブルに花を飾ったり、デザートの確認などをして開店の準備をしています。



▲「カフェほやほや」の様子

この日のデザートはプリン。どの器に入れようか、何をトッピングしようかと相談したり、オーダー取りなどの役割を確認しながら入居者の来店を待ちます。毎回30人程の入居者が来店され、中には着替えて開店を待っている方、面会に来た息子さんとおしゃべりをして居室に戻る方もおられるそうです。

ボランティアの皆さんからは「作る楽しみもあるけれど、『おいしかったわ!』と言われる、喜んでる姿を直に見られるのが嬉しい」「用事で休む時もあるけれど、気負いせず楽しんで活動している」などの声があり、和気あいあいと楽しく活動している様子が伝わってきました。



▲今回のデザートはプリン。フルーツやホイップなどをトッピング



ふくみんの 突撃インタビュー!

「思いっきり豊かな子ども時代を 過ごせる社会を目指して」

今回は、認定 NPO 法人 福井県子ども NPO センターの
谷内理事長さんにインタビューしました!

認定 NPO 法人 子ども NPO センター 編



▲福井県子どもNPOセンターの谷内さん



▲活動の様子
(子どもフェスティバル)

Q 福井県子ども NPO センターはどんな団体ですか?

A すべての子どもが豊かな子ども時代を過ごすために、社会の課題に向き合い、子どもと大人がともに活動している団体です。子どものためのフリーダイヤル「ふくいチャイルドライン」や、子どもたちが主体となって準備する「子どもフェスティバル」などの活動を行っています。

Q どんな思いで活動していますか?

A 「子どもの権利条約」に沿って、すべての子どもにとって一番いいことは何かを常に考えています。
子どもたちがもっている力を育むサポートをするとともに、子どもたちが自分らしく生活していくために、子どもをどう捉え、受け止めていくといいか考え、活動する大人を増やしていきたいと思っています。

Q ボランティアさんへ メッセージを!

A 子どもたちは、それぞれがキラリと光るものを持っています。その力を見て、聞いて、感じて、子どもたちと一緒に私たちのまちを盛り上げましょう!

☆10月26日(土)ハピリン(ハピテラス、ハピリンホール)で「子どもフェスティバル2019」が開催されます。ぜひお気軽にお越しください!

※詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

ボランティア活動の希望や問い合わせなどは、下記までお気軽にご相談ください!
<お問い合わせ>

認定 NPO 法人 福井県子ども NPO センター(木田町 36-1 コーポ木田 201 号)

T E L 97-8460 F A X 97-8461(担当 藤井さん) Eメール childnpo@muse.ocn.jp

ホームページ <http://childnpo.com>